

漫画展岡山県開催予定

(1) 岡山市役所 1Fロビー

4月27日(水) 9:00~17:00 28日(木) 9:00~17:00

(2) 岡山市立高島公民館

4月30日(土) 9:30~21:00 5月1日(日) 9:30~17:00
2日(月) 9:30~17:00

☆(1)、(2)のお問合せ、連絡先は、日中友好協会岡山支部
事務局長 小林まで Tel 086-277-2470

(3) 倉敷公民館 展示室

5月6日(金) 12:00~18:00 7日(土) 9:30~18:00
8日(日) 9:30~15:00

☆お問合せ・連絡先 日中友好協会倉敷支部
事務局長 宮地まで Tel 086-446-2711

(4) 総社市役所 1Fロビー

5月 9日(月) 10:00~17:00
10日(火) 8:30~17:00 11日(水) 8:30~16:00

☆お問合せ・連絡先 総社日本語教室
代表 西森まで Tel 0866-99-2560



©赤塚不二夫

27日・岡山から開幕

漫画展は左記の日程で、岡山市役所会場をかわきりに県下4会場で順次開催されます。多数、お誘い合わせてご鑑賞ください。

日中
あかやま

語字英原田 親

No. 636

2011/4/25

日中友好新聞

発行所
日中友好協会
〒113-0045 東京都千代田区
西船場1-1-1 東洋大学ビル

日中友好協会
岡山支部
〒700-8236
岡山市東区3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-0011
倉敷市蓮島中央1-8-1
(宮地町)
TEL/FAX:0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.web.infoseek.co.jp
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



倉敷でも「漫画展」
倉敷支部でも倉敷9条の会と共催で5月6日(金)から8日(日)まで3日間、倉敷市本町の倉敷公民館で漫画展を開催することになりました。
日中友好協会倉敷支部では、倉敷9条の会に呼びかけ、共催で、中国引き揚げ65周年記念「漫画展」を開催することとなり、倉敷市と倉敷教育委員会の後援をいただいて、漫画展を成功させようというのが本意です。また、倉敷公民館は駐車場がないためバスなどの公共交通機関の利用を呼びかけています。

山陽新聞の記者安田さんは、北京に留学したことがあるとか、友好新聞「の読者になってほしい」と思っています。

仲間づくり推進コーナー
漫画展よろしく
新聞社やテレビ局へ

4月14日岡山県でもはじまる漫画展について、15の新聞社やテレビ局に紹介をおねがいする文書を送りました。
15日には、岡山支部長、理事長、事務局長の3人で市庁舎の記者クラブを訪れ、居あわせた山陽、読売、日々の記者さんに説明し、熱心に聞いてもらいました。よい紹介の記事を期待しています。

娘の作文を読んで

黄 艶萍

2011年4月15日

3月11日の母の突然の死は私を日本から中国へ呼び返した。人を亡くされた悲しみが毎日心にしみこんできて、今になって知らずに一ヵ月も経った。

この一ヵ月は今まで離れ離れになった4年生の娘と暮らしている。ある日、娘が学校で書いた作文を読んだ。「日本の3.11地震の被害者に支援すべきか、すべきではないか」というクラスのディスカッションをテーマにした作文です。

支援すべきではないという主張を持つ学生が少なくない。理由としては「かつて日本は中国を侵略したから」、「日本人は中国人を人体実験までもした」、「日本人は残虐だ」となどなど。もちろん、支援すべきと主張する学生もいる。「支援してあげなかったら、かわいそうに思う」、「四川大震災の時も日本人が支援してくれたから」と。

娘の文書を読み終え、すぐに彼女の意見を聞いた。すると、娘は「支援しない。」とはっきり言ったのです。しかも「あなたも日本に戻らないで、同級生の前で恥ずかしいから」と私に警告した。一瞬、私の心がぎゅっと何かに叩かれたように痛くなった。早速、学校の担任の先生に一通のメールを送った。

「…日本の中国に対する侵略戦争は、ごく一部の軍国主義者によって起きたものです。多数の日本の国民は戦争に反対するのです。だから、学生たちに日中友好を教えてください…」
……私は、ここでわが国の子供たちにこう叫びたいです。「亡くなったひとに悲しんであげてください!」「生きてる人を愛してください!」「慈愛というやさしい心を失くさないで!」

日中友好協会倉敷支部では、次の第6回中国問題文化講演会のテーマを役員会で検討中、いまの緊急テーマは「原発とエネルギー問題」ではないか、中国の原発事情は?という問題提起があり、他の団体にも呼びかけて下記のような「緊急学習講演会」を開くことになりました。

倉敷で「緊急学習講演会」を計画

五月二十一日 原発とエネルギー問題で

テーマ

原発とエネルギー問題

講師 野口邦和先生

日本大学専任講師 研究者

理学博士 日本科学者会議会員

(専門)原子力

放射線防衛学 著書多数

日時 5月21日(土)

午後1時半から4時まで

会場 倉敷市民会館2階

大会議室

震災からほぼ一ヵ月、原発はどうなるのか?
放射能が遂に外洋へ流れ出しました。
何が起きているのか?
いつまでつづくのか?
世界「一安全」と公言してきた日本の原発でなぜおきたのか?
予見できなかったのか?
原発に替わるエネルギーはあるのか?
中国の原発事情は?
野菜や水は大丈夫か?
などたくさん疑問が寄せられています。質疑応答の時間もとりません。ぜひご参加を。

☆☆ 栗本 泰治 ☆☆

日本語教室・課外学習2題・高島教室と総社教室

総社日本語教室・課外授業

3月27日、受講生とその家族と講師と一緒に高松方面へ日帰りバス旅行をしました。(参加15人)
うどん作り体験や丸亀うちわづくり見学、栗林公園散策と一日中行動を共にすることでしつかりと交流することができました。



高島日本語教室の皆さん 工藤俊次さん撮影



総社日本語教室の皆さん(栗林公園)



うどん作りの体験

楽しかった課外学習 半田山植物園でのお花見

高島教室 山崎千賀子

四月五日、高島教室(火曜日・土曜日教室合同)では岡山市半田山植物園へ課外学習にかけました。岡山の美しい春を楽しむため、帰国者・講師の親睦を図るための行事です。通常の授業どおり、高島公民館へ十時に集合し、講師の車へ分乗しての出発です。高田号へは篠原夫妻、工藤万昌さん、文屋号へは益田さん、高杉さん、山崎号へは工藤俊次さん、後藤さん、成田講師が乗り、和田講師は現地集合です。通常の授業と違って、車の中でもみんなよくしゃべり、笑い声が絶えません。

半田山植物園では、桜は三分咲きでしたが、こぶし、ぼけ、椿、ムスカリなどの花が満開で、わたしたちを迎えてくれました。花の名の由来や中国名、また、たんぼぼは中国では食材ですよ。などと楽しく話しながら、散策しました。頂上に着くと、岡山市街が一望できました。講師が市街の様子を説明しました。高杉さん、篠原さんは通訳係もしてくれます。

昼食時間、篠原さんの奥さんが手作りの中国菓子を配って下さいました。みんなでおいしくいただきました。その後、帰国者の方から歌のプレゼントです。後藤さんが「我的祖国」、西遊記など、高杉さんが「世上只有妈妈好」、益田さんが「太陽出来」を朗々とひびきわたる声で歌ってくれました。わたしたちが聞きほれていたと、他の場所でも散策していた男性が来られ、中国語の歌声が聞こえたので来てみました。」との

「太極拳」劣等生のひとりごと パート③

小坂信代

太極拳はエゴだ(ライフスタイル編) Ⅱ

この記事を書くころと思ったときに、大震災がおきました。被災者の悲惨な生活を思うと、手軽で便利な石油や電気を使った暮らしは、とても脆いと感じました。

大きく、国のレベルでのエネルギー政策も大切ですが、小さなエゴライフの積み重ねも考えてみたいと思います。

我慢する・儉約する・ケチケチするのではなく、自分の生活スタイルに合った方法で楽しみながら続けたいと思っています。

*お花は出来るだけ買わないで、庭のハーブや野草を楽しむ。

*我が家に畑はないので野菜づくりは無理だけど、パセリ、ねぎ、シソ、三つ葉などが少しあるだけで季節を感じられる食卓に。

*テレビは本当に観たい番組だけつけるようにする。(ただいま努力中です)

近所の太極拳指導員の青木さんは、薪ストーブを使ってお

越冬さなぎの羽化はじまる

趣味で育てているナミアゲハの越冬組40が、サクラの花とともに飛びだした。

4月10日4頭、11日3頭、12日4頭、13日1頭、14日4頭、15日2頭……



ナミアゲハ

これって通じたの？

日中主催中国語講座で勉強を始めて8カ月。習った会話を使いたくてたまらない時期の私。チャンス到来—友達の子供が中国留学から一時帰国中に出会った。私「我叫西森。你哪？」彼「…僕、加百の息子ですけど…知てるでしょう…」と日本語でかえってきた。 西森文字

られます。これこそ贅沢なエゴ！薪ストーブはお料理にも使えるので、焼きたてのピザは最高だそうです。薪割りや薪はこび等、手間と時間がかかっても身体を使っている家事は、家族のきずなも深まります。そして何よりもそこで暮らしている人が満足していることが、最高のエゴライフだと思います。

私のこれからの目標は、物の整理や片づけをして、本当に必要な物と好きな物だけに囲まれた生活をする事です。探し物など時間のムダを少なくして、自分の時間を大切にゆつたり・ゆつくりライフをめざします。

次回の新聞発送作業は5月2日(月)午後1時半〜

民主会館2階で行います。

前回お手伝いくださった方です。

小林和 内井深三
竹内井垣 坪深三